

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1.個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2.取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3.自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4.ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5.事業や職業における特典を、ほかのロータリアンの求めない。

2014-2015年度 RI会長
ゲイリー C.K. ホアン 氏

次回例会予定 2月 4日 会員卓話 北村英明会員
2月11日 法定休会(建国記念の日)

VOL. 52 No. 24(通算No. 2427)

2015年 1月28日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
外 部 卓 話 長谷川典子様



「蠟梅」

写真提供:青木正弘会員

2014-2015年度 会 長 武 藤 康 之 幹 事 山 野 井 周 一

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



1月ロータリー理解推進月間です

例会報告 VOL. 52 No. 23 (No. 2426) 1月21日(水)曇り(司会 古矢 満委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎会員卓話 松坂興一会員

ビ ジ タ ー

第7分区ガバナー補佐 張貝正美様(取手ロータリークラブ)

ガバナー補佐セクレタリー 田中様(取手ロータリークラブ)

IM実行委員長 飯田藤治様(取手ロータリークラブ)

誕 生 祝



《会員》雨谷道夫会員

《ご夫人》染谷(昭)会員

IMのPR 張貝ガバナー補佐、飯田IM実行委員長



12月3日の公式訪問は、有意義に過ごさせて頂きました。実りある公式訪問でした。

2月15日にグリーンパレスふじしろでIMが開催されます。大勢の方にご出席をお願いします。ガバナー補佐のテーマとして「外国と日本」

諸 報 告

親睦活動委員会 荒井孝典委員長

観劇会のご案内

平成27年4月25日(土) 17時開演 帝国劇場にて ミュージカル「レ・ミゼラブル」

多数のご参加宜しくお願い致します。

国際奉仕委員会 北村英明委員長

1月18日(日) オーストラリアツウンバから3名の交換学生、無事帰国しました。11名で見送りして来ました。

御協力ありがとうございました。

幹事報告 松崎隆詞副幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

1月14日(水)新年会・歓迎会の記事(茨城新聞)を回覧致します。

1月ロータリー理解推進月間です

会長挨拶 武藤康之会長



皆さん今日は、本日は張貝ガバナー補佐はじめ取手クラブの皆さんようこそお出で下さいました。会員一同歓迎申し上げます。2月15日のIMに向けての準備やPRに大変お忙しい時間を過ごされている事と思います。分区の一大イベントが無事成功を収めるよう、ご祈念申し上げます。

さて国際奉仕委員会の皆さん、オーストラリアからの交換留学生のお世話、大変ご苦労様でした。毎年の事とはいえ、色々気苦労された事と思います。その中でもやはり一番の気苦労は言葉の壁ですよね？私も彼ら留学生が来る度に「もう少し英語が話せたら・・・。」と毎回思います。でも話せないの、身振り手振りで意志

を伝えるほかありませんね。そこで今日は外国の身振り手振りについてお話します。

まずブルガリアの話です。ブルガリアと言えばヨーグルトです。ブルガリア出身の元大関琴欧洲もヨーグルトのCMに出るぐらいだったので、もちろんヨーグルトは大好きだったようです。ところで、ブルガリアでは、「イエス」は首を横に振り、「ノー」は首を縦に振るといふ日本とは真逆だといふ話があるスポーツ新聞の記者が聞いたそうです。そこで、その記者は事の真偽を確かめるべくヨーグルトを手土産に佐渡ヶ嶽部屋に琴欧洲を訪ねました。すると琴欧洲は美味しそうにヨーグルトを食べながら記者の「大関、ヨーグルトは大好きですよ？」という質問に対し「大好きです。」と答えながら首を横に振ったそうです。数年前の新聞記事に載った話なので、多少の脚色はあるにせよ事実だと思います。インドでも「イエス」は首を横に振るそうです。

また日本と欧米では、意味を誤解されかねないしぐさもあります。日本では、「いない」や「違う」という時に自分の顔の前で手を左右に振りますが欧米では「臭い・臭い」と言っていると思われるそうです。他にも人を呼ぶときに「こっちこっち」と手のひらを下にしてお手招きするしぐさも海外では、「あっちへ行け」と追い払うしぐさと間違われる事も。アメリカでは、手のひらを上に向け指を曲げてお手招きをします。このような事例は他にもたくさんあるとは思いますが、水海道周辺で最も気をつけなければならないしぐさを最後に一つご紹介します。ご存知の会員さんもいらっしゃると思いますが、ブラジルのお話です。文章には表しづらい事柄なので、口頭でのみお話を致します。

会員卓話 松坂興一会員 15年前を振り返って(ガバナー選出とガバナー事務所の立ち上げ)



此のたび、古矢プログラム委員長さんより張貝ガバナー補佐がIM開催のPRにお見えになるとのことで、その際北村ガバナー誕生の経緯とガバナー事務所の立ち上げについて、当時の思い出話をして欲しいとのご下命で此の場にたった次第であります。

然しながら、年寄りの思い出話ほど詰まらない物はなく、聴く側からすると退屈このうえもなく、迷惑千万なことと存じますが、これも任務ございますので、しばしの間ご辛抱頂きたいと存じます。

北村さんのガバナー就任は2001～2002年度でありまして、前年のノミニ一年度からとなりますと15年前になる訳であります。当時の水海道RCと致しましては、創立39年目にして初めてのガバナー輩出と云うことで、クラブとしては機運が熟しておりました。

正式に地区指名委員会より選出依頼がありましたのは、1997～1998年度西村ガバナー年度で、丁度私が会長年度の時でありました。

早速選出の為の特別委員会を設けまして、慎重かつ厳正な検討の結果北村会員に白羽の矢がたったわけでありました。

ロータリアンとしてのキャリアも、会長はもとより分区代理も務め、温厚篤実な人柄と相まって見識に優れ、まさに打って付けの人物と、満場一致で推挙することになりました。

然しながら残念なことに、北村さんに受けがたい事情がありまして、断念するに至ったのであります。

従いまして、本来なら1999～2000年度が北村年度であった訳であります。そして二年後再度の要請を受け、

1月ロータリー理解推進月間です

ご本人の事情も解消され受託致したわけでありませぬ。

こうした事情からもお分かりのように、ご本人の了解は当然ながら、それ以前の問題として、輩出クラブでの総意が先ず第一であるとうことあります。

なぜならばガバナーの職務は想像を絶するものがあり、数人で行うことの出来るような仕事ではありません。

クラブが一体となり、メンバー全員でフォローして初めて、真つ当な職務を遂行できるのであります。

ガバナーの輩出と云うことは、クラブ内での意志の統一と強固な決意が求められる訳であります。

ガバナー事務所の運営に資金的な問題も確かに有ろうかとも思いますが、私の経験から申せば、解決出来ない問題ではなく、ガバナー年度の最終決算において解決できる筈であります。

それでも決定的な資金不足と言う事であるならば、それは最早、個人や輩出クラブの問題ではなく、地区全体として対応せねばならない問題と言う事でしょう。

話があらぬ方に向かっしまいました、ガバナーを輩出するとうことはそのくらい大変なことだとうことあります。又同時にクラブの責任は重大であるとうことあります。

さてガバナー事務所の立ち上げは、年度の1年前から始まる訳ですが、取りあえずガバナーノミーと地区幹事は言うならば見習いとして、前年度のガバナー、地区幹事と行動を共にする訳であります。その時にガバナー事務所としてのあり方、方針等、つぶさに観察かつ記憶にとどめて置く必要があり、このあたりで手抜きをしてしまうと、運営がスムーズに行かなくなるのであります。

当時私は、吉岡ガバナー年度の分区代理を務めており、地区幹事との“二足の草鞋”を履くことになり、多忙を極め大変な思いを致しました。

最初に手をつけたのが、スタッフの選定でありました

ガバナーと相談、熟慮の結果、若手の会員を中心に構成すべきとの認識で一致し、島田会員を筆頭に松村、青木(清)、青木(正)、秋田、熊谷、武藤会員に副幹事をお願いし、ガバナー月信の編集委員会を発足させ、委員長に青木全弘会員、委員に瀬戸、大塚、皆葉(伯)、増田、石塚(克)委員をお願い致しました。

当然のごとく、専従の職員が必要であり、杉本さん、和久さんのお二人に参加して頂き形が整ったわけあります。

スタートにあたり一番苦勞したのは、地区役員・委員の選出でありました。地区内すべてのクラブから選ぶのが建前ですから、まず各クラブ宛推薦依頼をお願いする訳であります。然しそれだけで成り立つ訳もなく、1本釣りでお願いすることもあり、ガバナー共々苦勞した訳であります。結果として当クラブから十名の委員を出すことで解決致しましたが通例では六、七名であります。此のことが後に良い経験となり、ロータリアンとしての資質を大いに高める事に繋がったと思っております。

そしてノミーの、RI 協議会への出発準備と手続に始まり、PETS、地区協、指導者の為の研修会等々次から次へと膨大な仕事量で圧倒されるばかりでした。

然しながら、驚いている余裕などなく、スタッフ共々大袈裟な言い方をすれば、連日連夜を間はず、ひたすら業務を消化してゆく毎日でした。北村年度において、地区では様々な問題を抱えておりました。

先ず地区リーダーシッププランの導入であります。これはそれまで行われてきた地区における分区代理の業務を改善・拡大してガバナーの負担を軽減して地区の活性化を図ろうとする試みであります。

このプランは数年前からの RI での決定事項で此の年度がタイムリミットに成っておりました。制度設定には大変苦勞いたしました。

また従前行われていた年度末での地区大会を RI 会長の要請に則り、年度前半の公式訪問の最中の十一月に行なう事にしたことです。

地区大会において、RI 会長の掲げるテーマの実践と推進を決議する訳ですが、年度末に開催、決議をしても一、二ヶ月もすれば年度も終わってしまいます。これでは何の意味もありません。そこで十一月に行なったわけですが、大変な苦勞でしたが、これこそクラブが一丸となつての一大イベントであり、成し遂げた後の達成感は何者にも変えがたい満足感がありました。

その他これまた RI からの要請で地区に IT 委員会を立ち上げるなど、未知への挑戦でありました。

また 255 地区から 2550 地区と 2820 地区に分割されて 10 年目にあたり、地区諮問委員同士の交流会の最後

1月ロータリー理解推進月間です

の年で、その懇親会場の設定・準備等何もかも初めての事ばかりで、何事も勉強の毎日でした。それでも大過なくやって来られた事は、素晴らしいスタッフに恵まれたこと、そしてそれを支えるクラブの熱意が在ればこそだと思っております。今日においても、つい昨日のごとく思い出され、感慨深いものがあります。

前に述べたスタッフの他にも、クラブ会長の小島会員、幹事の山田会員、田上会員、斎藤会員、染谷正美会員、染谷秀雄会員など正にクラブ一丸となつての日日でありました。

お名前を挙げた方々は、いずれも後にクラブの会長・幹事を歴任し当クラブのリーダー的役割を担う人達であります。

近いうちに、二人目のガバナーが選出されるかも知れませんが、その日が来るのを楽しみにしております。ただ残念なことは、会計長と言う重責を務められた鈴木豊会員が病に冒され薬石の効もなく亡くなられた事です。日ごろの彼の優しい笑顔が思い出され、今はただご冥福をいのるばかりであります。

また地区年鑑を見ておまして、その当時の地区の趨勢を見て見ますと、現在とは大変な隔たりが有るのに驚かされます。

北村年度は会員数が期首 2554 名期末 2483 名でありました。

その前年の吉岡年度では 2664 名、2658 名。吉沢年度は 2780 の 2765 名。埴年度は 2855 の 2856 名。西村年度は 2897 名の 2929 名で西村年度から五年間で 375 名減少しており、このころからロータリーの衰退の傾向が始まった様に思われます。

その後の状況を見て見ますと、片岡年度 2453・2387、清水年度 2370・2391、永井年度 2377・2359、萩原年度 2344・2358、佐藤年度 2346・2314、井上年度 2284・2242、廣瀬年度 2217・2178、内藤年度 2147・2115、山崎年度 2094・2066、大木年度 2022・2005 名となり、西村年度～大木年度までの二十年間で 907 名の減と言う事で 50 名のクラブが 18 以上消滅したことになります。

そして現在なお歯止めが掛からない状況です。RI が求めているものは、一体何なのでしょう。

改革の名を借りた様々な規制緩和はロータリーの原点から遠く離れて行っている様に思えてなりません。

会員の増強を目指しながら、減少につながって行く現状を見るにつけ、寂しい思いに駆られるのは、私だけでしょうか。

最後は年寄りらしく、湿っぽい話になってしまいましたが、以上もちまして思い出話とさせていただきます。ご清聴有難うございました。

出席報告 登坂 寛委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
56名	38名	18名	0名	10名	85. 71%

ニコニコボックス 五木田益城委員長

入金計 ¥39,000 累計 ¥1,307,000

誕生祝御礼《会員》雨谷会員 《ご夫人》染谷(昭)会員

IM案内に参りました。よろしく！ 張貝正美様(取手RC)

IMよろしくお祈いします。 飯田藤治様(取手RC)

張貝ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。松坂会員卓話よろしくお祈いします。 武藤会員

張貝ガバナー補佐ご苦労様です。本日卓話やらせて頂きます。よろしくお祈いします。 松坂会員

松坂会員、卓話宜しくお祈いします。 古矢会員

松坂様、本日の卓話宜しくお祈い致します。 大澤会員

ツウンバの学生3名無事に帰国しました。御協力頂いた皆さん、ありがとうございます。 北村(英)会員

ツウンバからの留学生3名、1月18日に無事帰りました。大変お世話になりました。 五木田(裕)会員

新年会、交換学生歓迎会、親睦委員会、国際奉仕委員会の皆様ご苦労様でした。また松坂会員卓話楽しみです。 斎藤会員

新年会、歓迎会多数のご参加ありがとうございました。松坂会員卓話楽しみにしております。 荒井会員

1月ロータリー理解推進月間です

国際奉仕委員会の皆さん、また同行された皆さん、大変お疲れ様でした。子供たちにもとても良い影響になり、英会話の大切さを痛感しました。松坂様本日の卓話宜しくお願ひ致します。 石井会員
新年会多数のご参加ありがとうございました。また国際奉仕委員会の皆様お疲れ様でした。松坂会員卓話宜しくお願ひします。 五木田(益)会員
寒いです。雪になりませんように！ 染谷(正)会員
新年会欠席しました。 小島会員
例会欠席しました。 雨谷会員

会報委員会 鈴木茂徳委員長 二本松恭行副委員長 本橋美章委員

ロータリーについて話そう

親愛なるロータリアンの皆さん、今年度の初め、私はロータリーデーを開催して「ロータリーに輝きを」与えるよう、いたるところのロータリアンにお願いしました。どのように実施するかは皆さま次第。丸一日かけても、2～3時間でも構いません。クラブでも、地区でも、あるいは国中で計画することも可能です。奉仕プロジェクトでもお祭りでも、皆さんが望むものならどんなイベントでもよいのです。地域社会に開かれ、ロータリー家族を受け入れ、楽しくさえあれば、それがロータリーデーなのです。

ロータリーを地域に知ってもらう

ロータリーデーの目的は、ロータリーを光で輝かせることです。ロータリーにおいて、私たちは長い間、自分たちの素晴らしい活動を自慢するのは好ましくないと感じていました。黙って奉仕をして、その活動がおのずと語ってくれるのが最も良いと考えていたのです。しかし今日、多くの地域社会では、自分たちの地域にロータリークラブがあることすら知られていません。クラブがしっかりしていないとか、奉仕をあまりしていないからではありません。彼らは十分なことをしています。しかし、もしロータリアンが自分たちの活動について語らなければ、人々がその活動を知ることは決してないでしょう。

世界中で実施されるロータリーデー

私たちが「ロータリーに輝きを」与え、私たちが行っていることを人々に知ってもらう時です。今年度の上半期、多くのロータリアンが私のロータリーデーというチャレンジに、どのように取り組んでいるのかをわくわくしながら見てきました。私は、フィリピン、韓国、中国、アメリカ、トルコ、インド、台湾、スリランカ、バングラデシュを含むさまざまなところで、ロータリーデーに参加しました。同じものは一つもなく、どれも独自の方法で「ロータリーに輝きを」与えるチャレンジに就いていました。

ロータリーとその奉仕を引き継いでいくために

皆さんの地域でロータリーデーを実施したら、私たちにお知らせください。タイトルを「Rotary Day」として、実施したロータリーデーの詳細と写真をメールに添付して『THE ROTARIAN』(rotarian@rotary.org)までお送りください。今後できるだけたくさんのロータリーデーを掲載するよう最善を尽くすつもりです。

自分の地域でロータリーデーの計画していないのなら、これから計画を立ててみてはいかがでしょうか。皆さんのロータリーに対する愛情を自分の地域社会と分かち合う素晴らしい手段です。ロータリーについて誰かに話して、会員であることが自分の人生がいかに豊かなものにするのかを知らせる時、自分がクラブに勧誘された時に与えられた贈り物を分かち合うことになるのです。その贈り物を引き渡していくことで、ロータリーとその奉仕が次の世代に確実に引き継いでいくための一助となるのです。

GARY C. K. HUANG

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2014 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press

ロータリーの友

一般社団法人ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 email hensyu@rotary-no-tomo.jp